2026年9月期 通期決算説明会

三洋貿易株式会社（証券コード：3176）

2026年11月16日

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

はじめに

米国子会社財務責任者による不正事案について

このたび、当社連結子会社であるSanyo Corporation of America（以下「SCOA」 という。）において、SCOAの財務責任者であった元従業員（以下「対象者」という。）がSCOAの資金を私的に流用していた事案が判明し、当期業績に与える損害額６億18百万円を特別損失として計上いたしました。本事案に関しまして、株主・投資家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに、多大なるご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

本事案概要

2026年9月上旬、SCOA内における資金の入出金明細と会計帳簿の照査を通じて本事案が判明し、9月18日から特別調査委員会による調査を実施いたしました。その結果、対象者は2026年6月から9月にかけて複数回にわたり、 所定の承認手続きを経ることなくSCOAの資金を自己名義の口座へ移動するとともに、帳簿等を改ざんし、虚偽の説明を繰り返していたと認定されました。また、グループ会社を対象とする調査の過程で、三洋機械工業株式会社において、従業員による総額約61百万円の現金の不正引出し・私的流用が追加で判明いたしました。調査結果を踏まえ、2026年９月期連結決算において、本件に係る損失として総額6億18百万円を特別損失に計上いたしました。

再発防止策

（１）現預金等管理体制・業務プロセスの抜本的見直し
（２）本社管理部門によるグループ統制及びモニタリング機能の強化
（３）内部監査機能の高度化
（４）管理部門・機能等の強化と人材育成

関係者の処分

（１）代表取締役社長　　：月額役員報酬50％自主返納（3か月）
（２）管理部門担当取締役　　：月額役員報酬50％自主返納（3か月）
（３）事業部門担当取締役 兼 広報・IR室長：月額役員報酬25％自主返納（3か月）
（４）事業部門担当取締役　　：月額役員報酬10％自主返納（3か月）

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

本日のトピックス

1 2026年9月期の売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新

2 2027年9月期も引き続き、過去最高益の更新を見込む
SV2028※の目標達成に向けて、順調な進捗

3 情報開示の取り組みが評価され、
日本証券アナリスト協会 中小型株向けディスクロージャー好事例に選定
PBR＞1倍の常態化に向けて、ROE改善を追求し、企業価値向上を目指す

※ SV2028:SANYO VISION 2028。23年11月に公表した5か年長期経営計画(以下、同)

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 2026年9月期 実績

02 2027年9月期 業績予想

03 企業価値向上に向けて

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

01

01 2026年9月期 実績

02 2027年9月期 業績予想

03 企業価値向上に向けて

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年9月期 連結実績

- 売上、売上総利益、営業利益は過去最高を更新
- 当期純利益も、子会社元従業員の資金流用による特別損失を６億円を計上した一方、政策保有株式の売却益12億円などにより、過去最高を更新

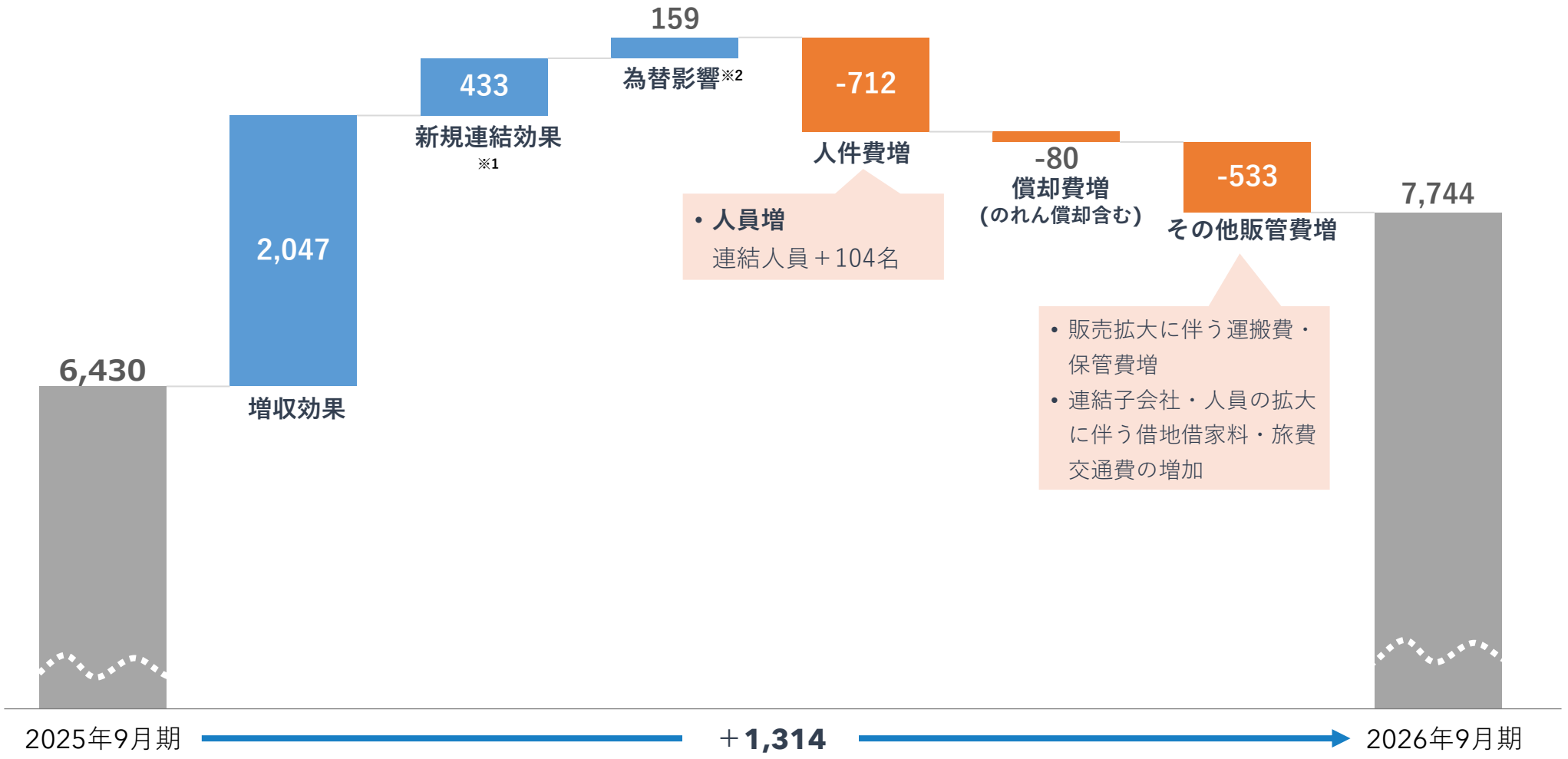
（単位：百万円）	2025年9月期	2026年9月期					
	実績	3Q時点予想	実績	前期比（額）	前期比（率）	3Q時点予想比（額）	3Q時点予想達成率
売上高	**132,703**	138,000	**144,590**	+11,886	**+9.0%**	+6,590	**104.8%**
売上総利益 （売上総利益率）	**22,564** (17.0%)		**25,202** (17.4%)	+2,638	**+11.7%**		
販売費及び一般管理費 （販管費率）	**16,133** (12.2%)		**17,457** (12.1%)	+1,324	**+8.2%**		
営業利益 （営業利益率）	**6,430** (4.8%)	7,500 (5.4%)	**7,744** (5.4%)	+1,314	**+20.4%**	+244	**103.3%**
経常利益 （経常利益率）	**6,879** (5.2%)	7,650 (5.5%)	**7,644** (5.3%)	+765	**+11.1%**	▲5	**99.9%**
親会社株主に帰属する当期純利益 （当期純利益率）	**4,615** (3.5%)	6,000 (4.3%)	**5,702** (3.9%)	+1,086	**+23.5%**	▲297	**95.0%**
EPS(円)	**80.12**	104.05	**98.96**	+18.84	-	▲5.09	-

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年9月期 営業利益の増減要因

■ 人員増加や販売拡大に伴い販管費の増加を上回る増収効果により、営業利益は大幅に増加

（単位：百万円）

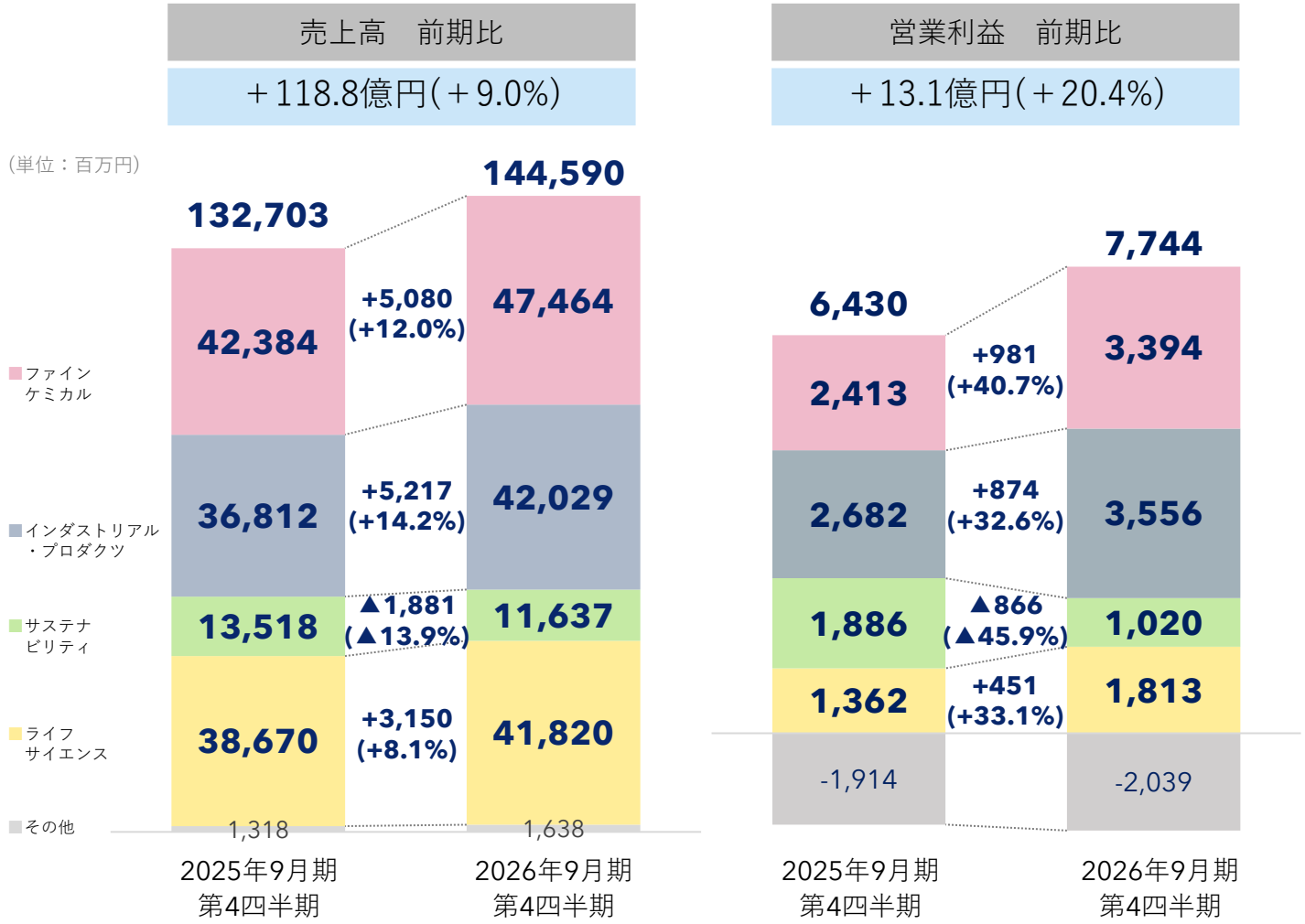


※1　新規連結子会社の営業利益を単純合算した参考値　　※2　当期レート換算額と前期レート換算額との差額（参考値）

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別 決算サマリー

■ サステナビリティにおける一過性の減少をその他３セグメントの伸長でカバーし、増収増益



ファインケミカル	増収・増益
インダストリアル・プロダクツ	増収・増益
サステナビリティ	減収・減益
ライフサイエンス	増収・増益

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別構成比率

- ファインケミカル、インダストリアル・プロダクツ、ライフサイエンスで約9割を占める
- サステナビリティセグメントが今後の伸びしろ

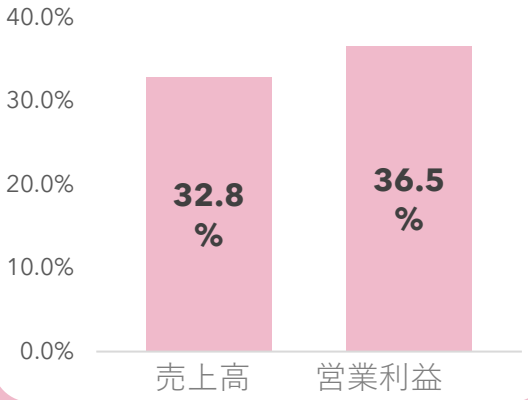
ファインケミカル

分野：合成ゴム、塗料、
インキ、コーティング


ゴム関連


化学品関連

セグメント構成比



インダストリアル・プロダクツ

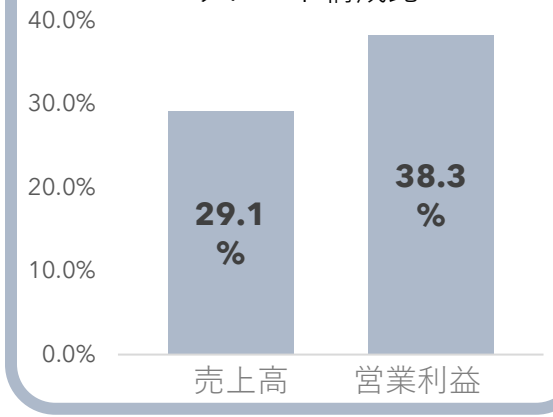
分野：モビリティ




自動車内装部材

スキャニングによる
ベンチマーキングサービス

セグメント構成比



サステナビリティ

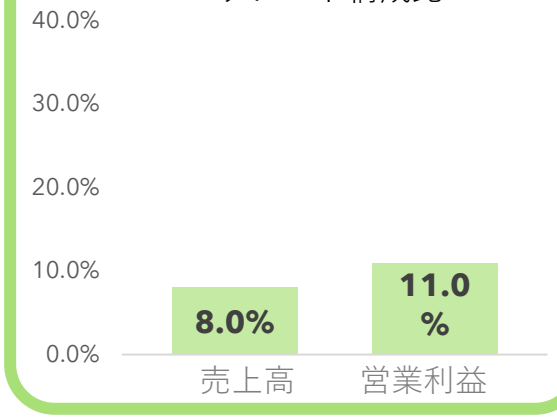
分野：再生可能エネルギー
（バイオマス、地熱、海洋）、
畜産飼料


木質バイオマス関連



洋上風力
海洋調査関連

セグメント構成比



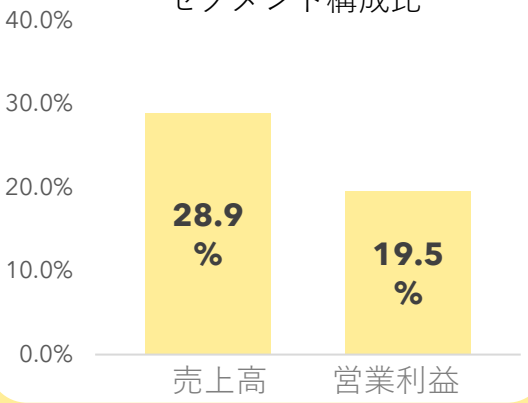
ライフサイエンス

分野：食品添加物、化粧品、
在宅医療、科学機器、
バイオテクノロジー


電子材料


評価装置

セグメント構成比



※ セグメント別売上高・営業利益比率は、連結調整前の数値をもとに算出。「その他」を記載していないため、合計は100%となりません。

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別概況：ファインケミカル

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期比
売上高	42,384	**47,464**	**+12.0%**
営業利益 (営業利益率)	2,413 (5.7%)	**3,394** (7.2%)	**+40.7%**

増減要因		
売上高	ゴム	+) 国内向け原材料需要が好調 −) 一部海外グループ会社の売上減
	化学品	+) 供給不安を背景とした先取り需要の取込み +) 新規商売の立ち上がり
営業利益	ゴム 化学品	+) 販売価格見直しによる効果

【主な取扱い製品】



合成ゴム



熱可塑性エラストマー・樹脂



ゴム補強・充填材

＜最終用途＞

- **自動車用シール材**
- **高圧ホース**
- **タイヤ**
- **家電製品**



光重合開始剤/紫外線吸収剤



スペシャリティモノマー



顔料



ワックス



シランカップリング剤

＜最終用途＞

- **インキ・印刷物**
- **外壁用塗料**
- **接着剤**
- **プラスチック製品**

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別概況：インダストリアル・プロダクツ

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期期比
売上高	36,812	**42,029**	**+14.2%**
営業利益 (営業利益率)	2,682 (7.3%)	**3,556** (8.5%)	**+32.6%**

増減要因		
売上高	国内	+) 販売堅調
	海外	+) 米国、タイの一部輸出が好調 +) EMAS社※の連結化 −) 中国の景気減速
営業利益	国内	+) 為替変動による利益底上げ
	海外	+) 中国における販売価格見直しとコスト削減

【主な取扱い製品】







スキャニングによる
ベンチマーキングサービス



EVバッテリーメンテナンス機器 (EverBlue Drive)

※自動車アフターマーケット向けに自動車エアコン関連部品を提供するシンガポールの専門商社

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別概況：サステナビリティ

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期比
売上高	13,518	**11,637**	**▲13.9%**
営業利益 (営業利益率)	1,886 (14.0%)	**1,020** (8.8%)	**▲45.9%**

増減要因	
売上高	+) 飼料加工機器の大型案件計上・関連消耗品販売堅調 +) 木質バイオマス関連事業における大型案件の進捗 −) 海洋開発関連事業の端境期となる影響で海洋調査資機材関連販売が減少
営業利益	−) 木質バイオマス関連事業の収益性低下 −) 海洋開発関連事業の売上減少に伴う利益減

【主な取扱い製品】

＜飼料用加工機器・木質バイオマス関連＞


ペレットミル


（各種ペレット）


木質チップ用低温水型ベルトドライヤー


各種ハンマーミル


ガス化ユニット


熱電併給ユニット

＜最終用途＞

- 飼料・肥料
- 食品・工業製品等
- 再生可能エネルギー

＜洋上風力・海洋調査関連＞


トップドライブシステム


ROV 遠隔操作型無人潜水機



TPカバー


ケーブルプロテクションシステム

＜最終用途＞

- 石油・ガス
- 地熱開発
- 洋上風力発電
- 海洋調査

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別概況：ライフサイエンス

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期比
売上高	38,670	**41,820**	**+8.1%**
営業利益 (営業利益率)	1,362 (3.5%)	**1,813** (4.3%)	**+33.1%**

増減要因	
売上高	+) 電子材料、機能性添加剤など基幹商材の輸出入ビジネスが伸長 +) 科学機器関連商品は複数案件の納入が進展 +) 機能性飼料原料の販売数量の増加 −) バイオ分野の研究支援機器は代理店契約終了影響で大幅減少
営業利益	+) 基幹商材、科学機器関連、機能性飼料原料がけん引

【主な取扱い製品】

＜ライフサイエンス関連＞


電子材料


各種フィルム


化粧品(原料/容器)


FoodTech


香料


高機能性樹脂

＜最終用途＞
- 電子機器／バッテリー
- 芳香剤
- ペットフード
- オムツ

＜科学機器関連＞


濡れ性評価装置


粒子評価装置


耐候性試験機

＜最終用途＞
- 研究開発（R&D）
- 品質管理
- 生産管理
- 検査

＜バイオテクノロジー関連＞


3Dバイオプリンター


遺伝子解析次世代シーケンサー (NGS)

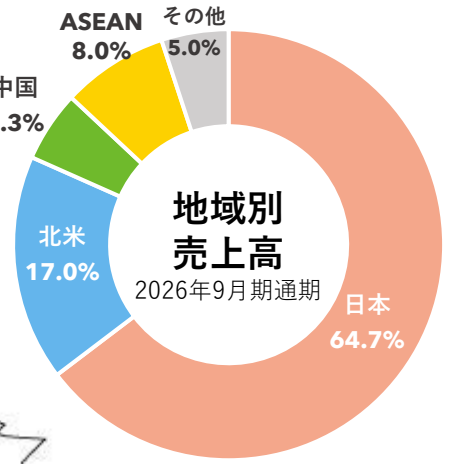

遺伝子発現解析サービス、創薬支援サービス

＜最終用途＞
- 遺伝子研究
- 細胞研究
- タンパク質研究
- 病理研究
- 創薬支援

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

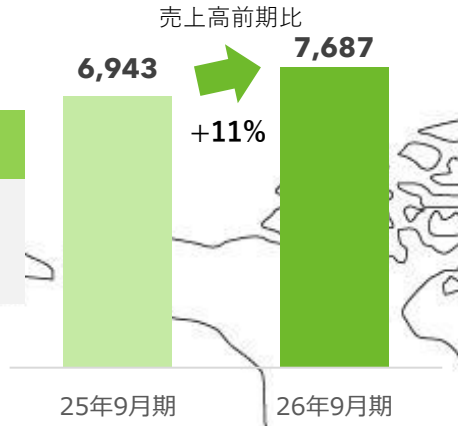
地域別売上高と状況

- 新規連結効果も含めASEANが好調、米国、中国も堅調に推移
- 為替影響も後押しし、海外全体の売上高は前期比80億円増加（＋18.8%）
- 海外拠点主導で、地場オリジネーション事業開拓中



中国

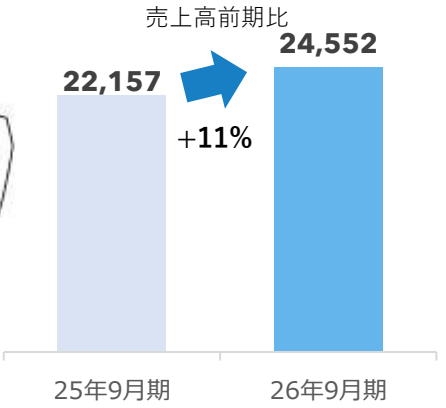
- 景気減速と日系自動車メーカーの減産影響の一方、ゴム関連の高付加価値商材が好調



北米

（アメリカ）
- アラバマ向け(23年7月～本格稼働中)自動車関連が好調

（メキシコ）
- 追加関税対応の発生により、自動車関連は売上低調。ゴム関連も低調



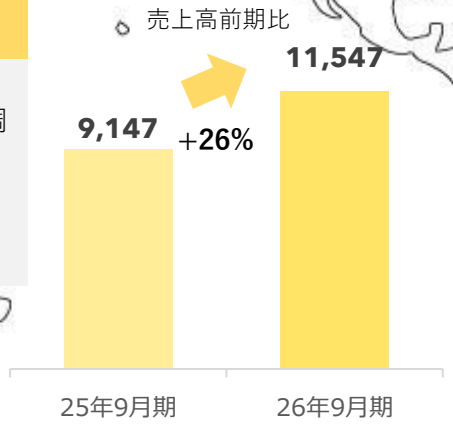
その他

（ドイツ）
- 半導体関連が好調
- 展示会への出展等、営業活動中
- 新規事業への取組み拡大中

ASEAN

（タイ）
- 販売価格の見直しにより自動車関連好調
- ゴム関連の高付加価値商材が好調

（その他地域）
- シンガポールはEMAS社の連結効果
- ベトナム、インドネシアは減速



（単位：百万円）

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

02

01 2026年9月期 実績

02 2027年9月期 業績予想

03 企業価値向上に向けて

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年9月期 業績予想

- 「サステナビリティ」セグメントの回復等を見込み、売上高・営業利益・経常利益は、27年9月期も最高益を更新の見通し
- 当期純利益は、前期計上した政策保有株式売却を見込んでおらず、減益の見込み

（単位：百万円）	2026年9月期	2027年9月期		
	通期実績	通期予想	前期比（額）	前期比（率）
売上高	144,590	**160,000**	+15,409	+10.7%
営業利益 （営業利益率）	7,744 (5.4%)	**8,500** (5.3%)	+755	+9.7%
経常利益 （経常利益率）	7,644 (5.3%)	**8,800** (5.5%)	+1,155	+15.1%
親会社株主に帰属する当期純利益 （当期純利益率）	5,702 (3.9%)	**5,600** (3.5%)	▲102	▲1.8%
EPS(円)※	98.96	**98.12**	▲0.84	-

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年9月期 セグメント別業績予想

- ファインケミカル：既存事業の拡大および海外事業の進展の一方、先取り需要の反動減により、減収減益
- インダストリアル・プロダクツ：既存事業の底堅い推移の一方、一部取引先の為替影響はく落により、増収減益
- サステナビリティ：洋上風力および掘削リグ向け大型案件の寄与により、大幅な増収増益
- ライフサイエンス：一部事業のコスト増加を研究支援機器の新規案件立ち上げ等でカバーし、増収増益

（単位：百万円）	売上高				営業利益			
	2026年9月期 実績	2027年9月期 予想	前期比（額）	前期比（率）	2026年9月期 実績	2027年9月期 予想	前期比（額）	前期比（率）
ファインケミカル	47,464	**47,000**	▲464	▲1.0%	3,394	**3,300**	▲94	▲2.8%
インダストリアル・プロダクツ ※1	38,273	**40,000**	＋1,726	+4.5%	3,367	**3,300**	▲67	▲2.0%
サステナビリティ ※1	15,392	**27,000**	+11,607	＋75.4%	1,208	**2,200**	+991	+82.0%
ライフサイエンス	41,820	**44,000**	+2,179	+5.2%	1,813	**1,900**	+86	+4.8%
その他	1,638	**2,000**	+361	-	▲2,039	**▲2,200**	▲160	-
合計	144,590	**160,000**	+15,409	+10.7%	7,744	**8,500**	+755	+9.8%

※1 一部事業のセグメント変更に伴い、2026年9月期実績を変更後の区分に組み替えています。

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

SANYO VISION 2028 財務目標の進捗状況

■ SV2028の3年目が終了、財務目標は概ね達成

■ 営業利益も2027年9月期は85億円を見込み、SV2028の目標達成に向け順調な進捗と評価

	実績 (2024年9月期)	実績 (2025年9月期)	実績 (2026年9月期)	目標 (2028年9月期)	評価
ROE	11.4%	9.3%	10.7%	10～12%	◎
営業利益	70億円	64億円	77億円	90億円	○
営業利益率	5.5%	4.8%	5.4%	5.1%	◎
営業CF	54億円(黒字)	71億円(黒字)	11億円(黒字)	黒字	◎
自己資本比率	63.3%	62.9%	61.2%	50%以上	◎
PBR (期末時点)	0.92	0.91	1.22	1倍超	◎

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

03

01 2026年9月期 実績

02 2027年9月期 業績予想

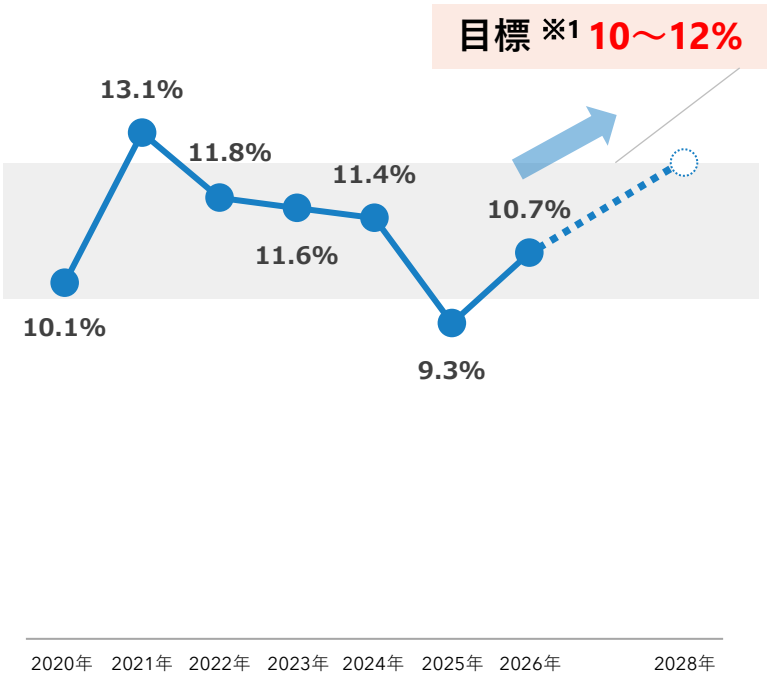
03 企業価値向上に向けて

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

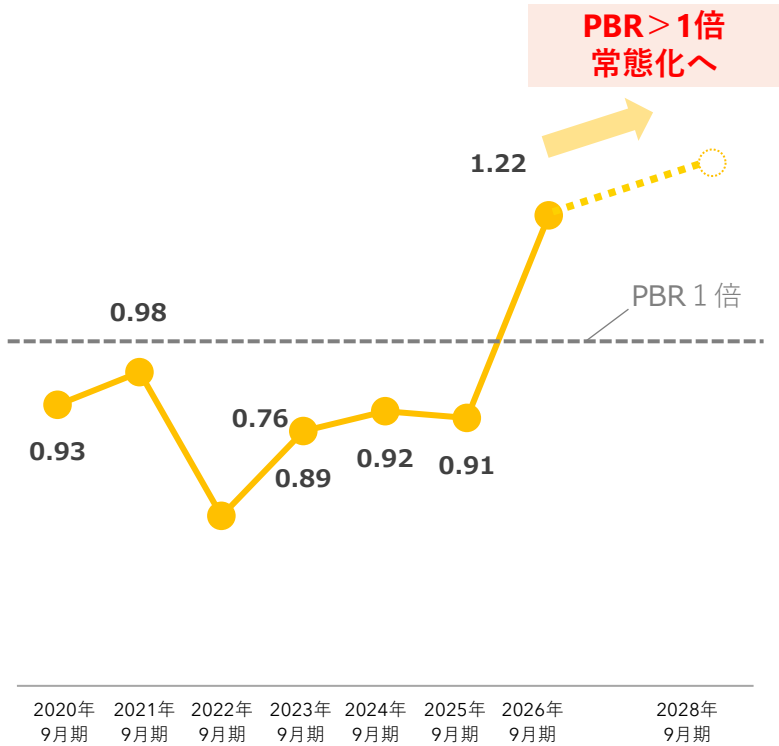
資本効率・市場評価の向上（ROE、PBR、PER）

- ROEは株主資本コストを上回って推移。PBRも1倍超を達成
- 今後は、資本コストを上回るROE水準(目標10～12%)の継続とともに、認知度向上の取組みによるPER上昇で、PBR＞1倍の常態化を目指す

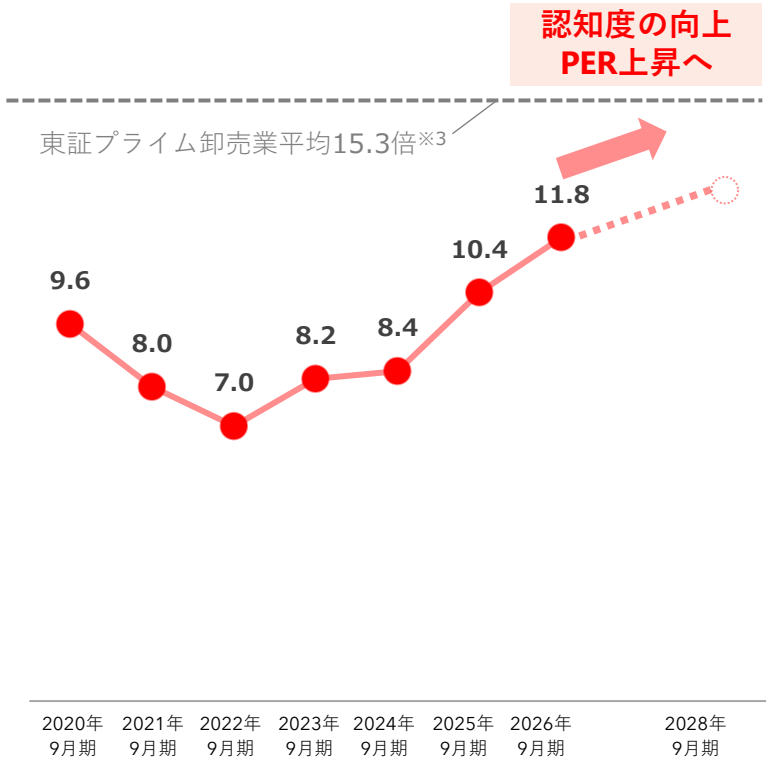
【ROE推移】



【PBR推移】※2



【PER推移】※2

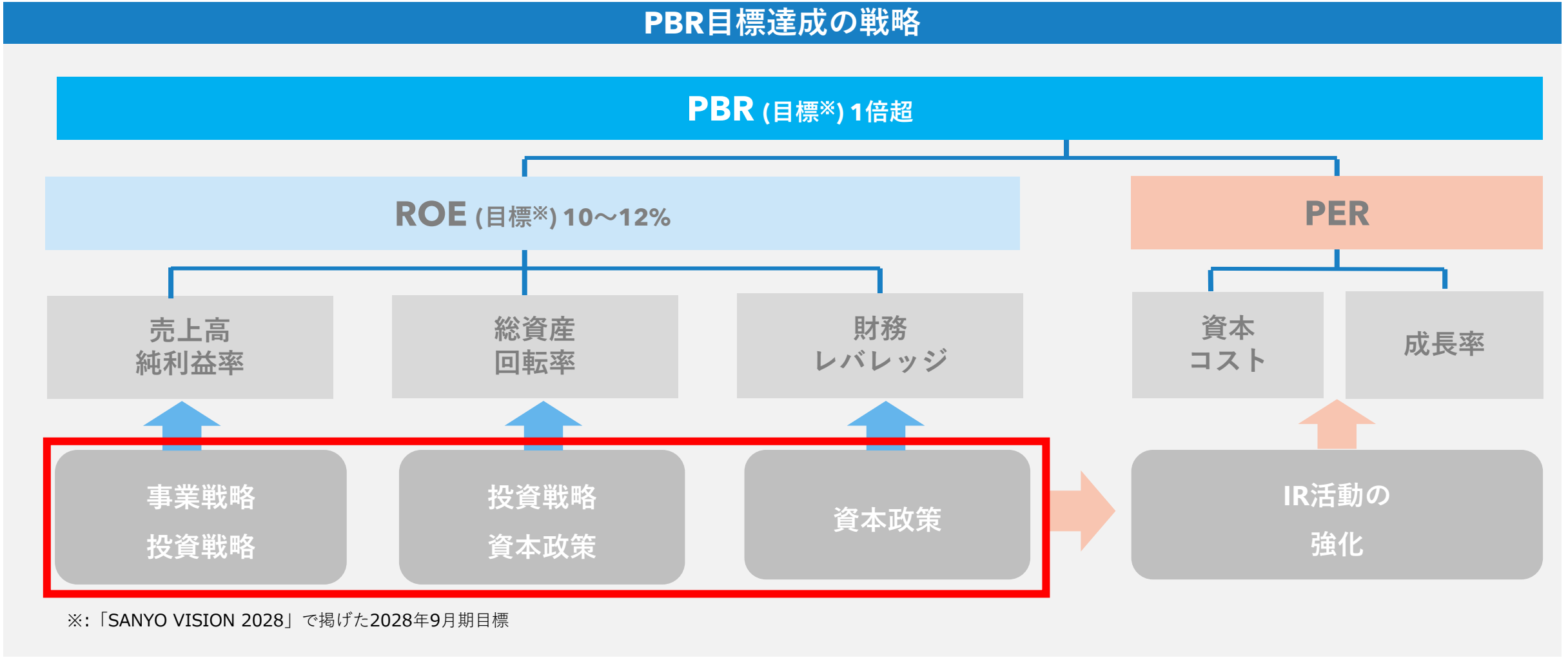


※1　資本コストは従来、CAPMによる算出で5～6%と開示してきたが、算出に用いるパラメーターの取り方等により数値には振れ幅があることに鑑み、数値レンジの認識を一定程度上方に修正
※2　各年9月末時点　　※3　2026年9月末時点

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

PBR1倍超の先へ

■ PBR1倍超の常態化にむけて、今後はより一層ROEにこだわり、企業価値の向上を実現



※:「SANYO VISION 2028」で掲げた2028年9月期目標

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

持続的な企業価値向上

成長戦略

既存事業の成長・
新規ビジネスの開拓
によるROE向上

投資戦略

戦略的な事業投資による
資本の有効活用

資本政策

資本効率向上に向けた
資本政策の推進

企業価値向上に向けた取り組みを加速

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

キャッシュアロケーション

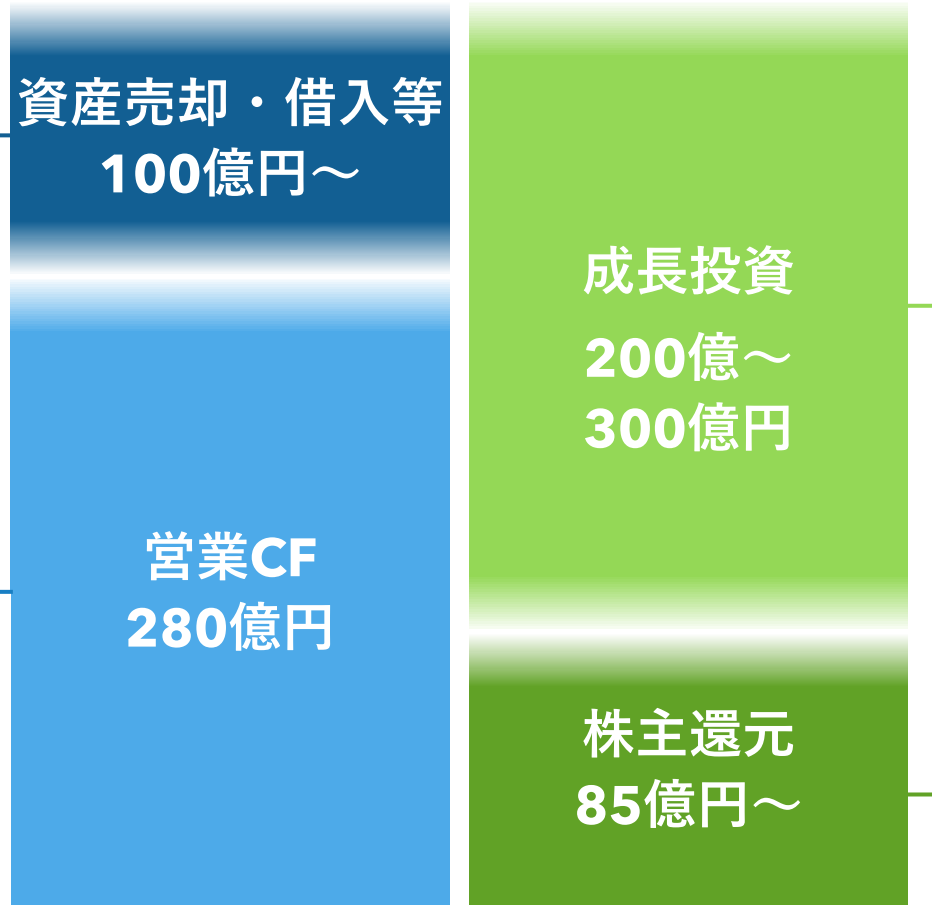
キャッシュイン　キャッシュアウト

（24.9~28.9 累計）

- 財務規律を保ちつつ、他人資本を活用

【財務規律（目安）】
自己資本比率：50%以上
D/Eレシオ　　：0.5倍未満

- 営業CFの黒字基調継続



- 4セグメントの成長分野に**ボルトオン型のM&A**を推進

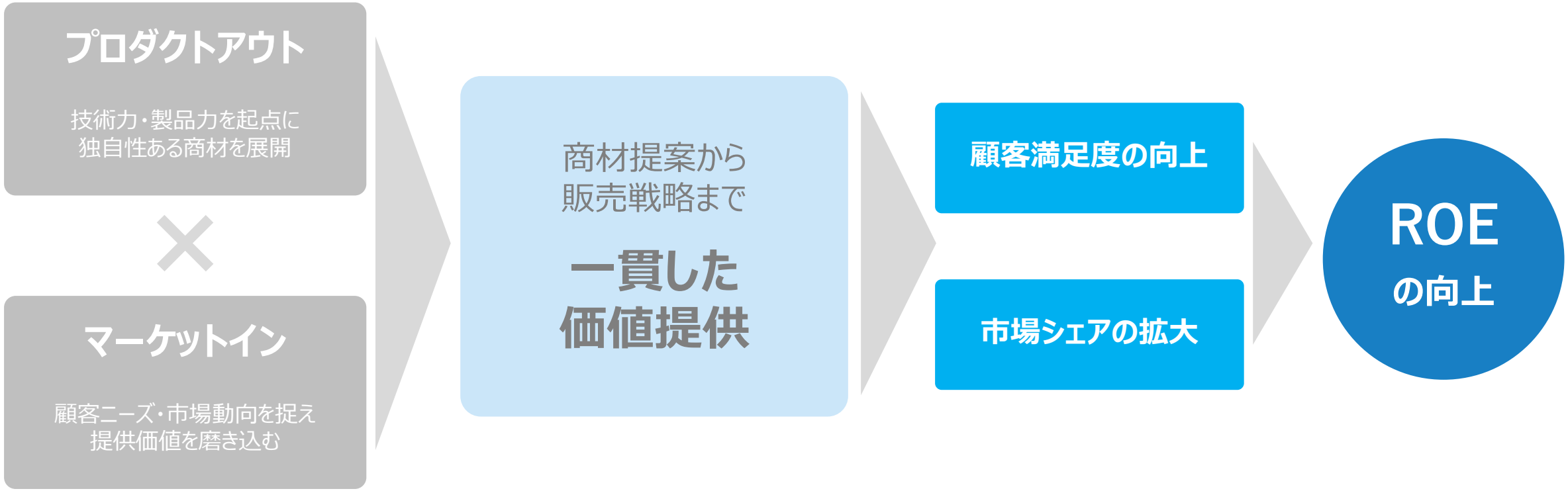
事業投資　人的資本投資　DX関連投資

- 「**配当性向30%以上**」
「**累進配当**」

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略～プロダクトアウト×マーケットイン～

■ プロダクトアウト×マーケットインのハイブリッドで成長実現



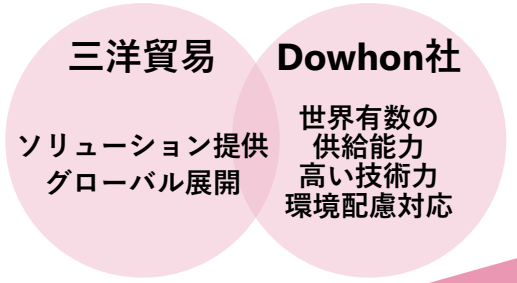
Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略の具体例：ゴム関連製品（次世代の基幹商材の拡販）

- 中国最大手Dowhon社※製フッ素ゴムの日本総代理店
- 安定供給（年間生産能力1万トン、2027年1.4万トンへ増強）をベースとした日系顧客への拡販活動
- 脱PFAS乳化剤対応フッ素ゴム製品のラインナップによる環境配慮型ビジネスの推進

※Dowhon社:
フッ素ゴムに薬品をあらかじめ配合したプリコンパウンドの中国大手メーカー。フッ素ゴムは耐熱性、耐油性、耐薬品性に優れた特性を持ち、自動車のホースほか機能性ゴム部品に使用される。

両社の強みを活かした相乗効果



【市場規模と開拓ロードマップ】

【最終製品の用途例】

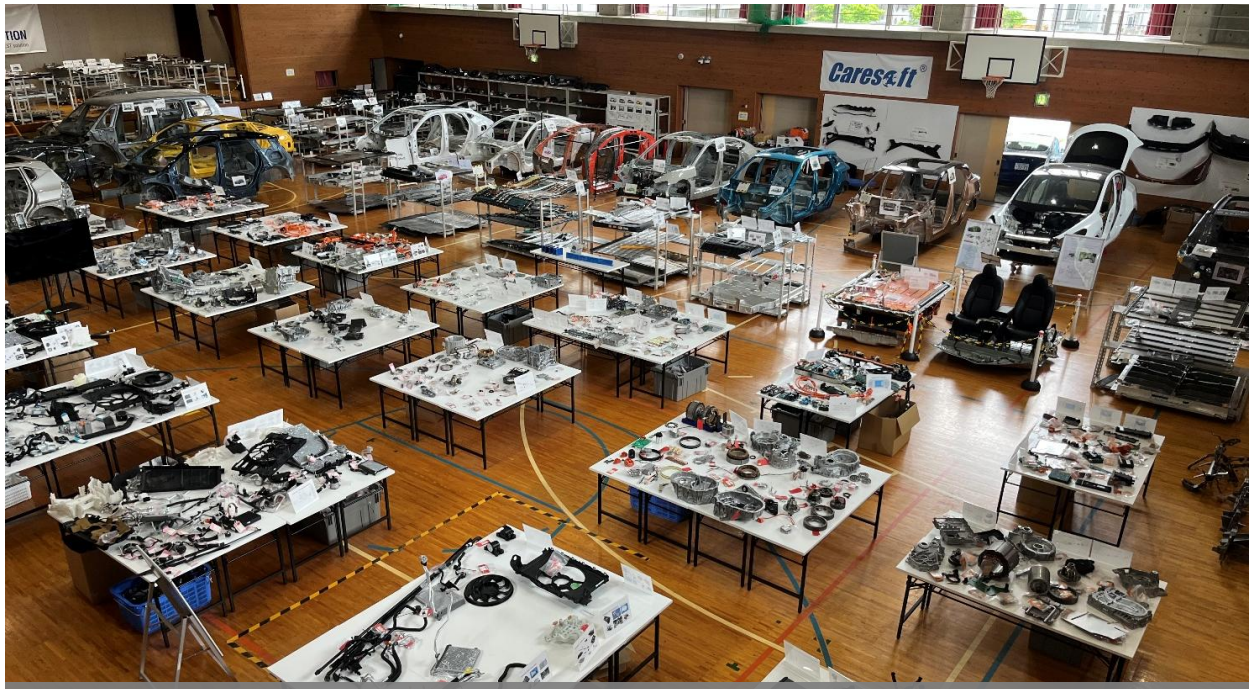


自動車部品：燃料インジェクター用Oリング、燃料ホース内面シール、エンジンオイルシール
化学プラント：バルブ用Oリング、ポンプ軸封シール
半導体製造装置：真空チャンバー用Oリング、ガス供給ライン用シール
医療・食品機器：配管フランジ用ガスケット、ポンプ摺動用シール
航空・宇宙：航空機エンジン用耐熱シール

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略の具体例：自動車ベンチマーキング事業の深化

- 国内最大級のEV分解部品展示場をリニューアル
- 最新の国内外EVを「現物」と「解析データ」の両面から比較・研究できる拠点へ



分解部品を部品群ごとに分類し、車種横断で比較しやすい展示

RENEWAL HIGHLIGHTS ※2026年9月末時点

分解部品車両25台・完成車10台展示

国内外車種を分解、展示

展示部品約13万点に拡大

普段見られない海外製EVの材質・工法を現物で確認

累計来場者数17,500人突破

自動車・部品・材料メーカーの開発・研究者が活用

完成車・分解部品・解析データを組み合わせ、製品改善や技術革新、新規分野への進出を支援

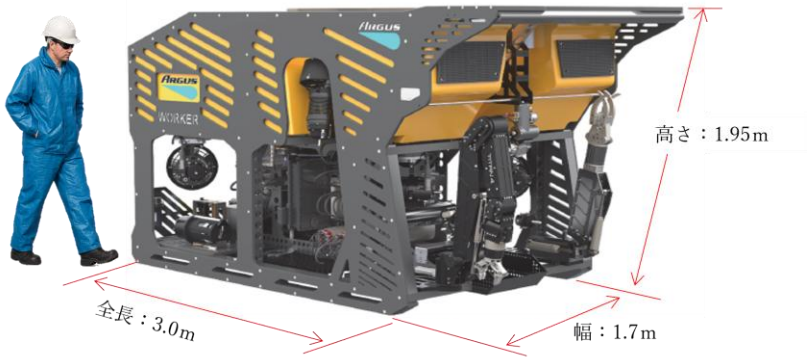
→ 売上総利益の数億円規模への拡大

Copyright © 2023 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略の具体例：作業用ROV（無人探査機）レンタルの開始

- 国内常設 × 熟練人材 × 保守管理で、海洋調査・施工をワンストップ支援
- 海洋開発分野において、国内海洋事業の中核企業体を目指す





大型作業用ROV「Argus Worker」

市場機会と顧客課題

1	市場拡大	洋上風力をはじめ、海底調査・施工ニーズが本格化
2	運用負担	専門人材の確保、保守体制の整備が不可欠
3	調達リスク	海外輸送のコストと長納期が工程上のリスク

サービスの強み

国内常設
国内での確立した
メンテナンス体制と
柔軟なトラブル対応

高出力性能
強い潮流化での施工・
重量物に対応する高出力性能

実績とサポート力
JAMSTEC「ちきゅう」
向けROV納入の実績に
裏打ちされたサポート力

海洋開発分野における国内海洋事業の中核企業体へ

Copyright © 2023 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略の具体例：ユニコム※事業室の新設

■ AI、データセンター、半導体及び次世代通信の発展を支える情報通信・電力インフラ分野において、ケーブル技術を核とした事業をグローバルに展開し、当社の中核を担う成長事業の創出へ

01 市場の追い風

- 通信の高速・大容量化
- 省エネ・高効率化

02 当社の強み

- **通信・送電分野の**
  ケーブル技術・顧客基盤
- 高機能商材：
  高速・大容量通信ケーブル
  高機能冷却ケーブル

03 展開領域

- データセンター
- 半導体
- モビリティ
- 量子コンピューター

当社の中核を担う成長事業の創出へ

※ ユニバーサル・コミュニケーションの略称

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

投資戦略：投資案件の推進

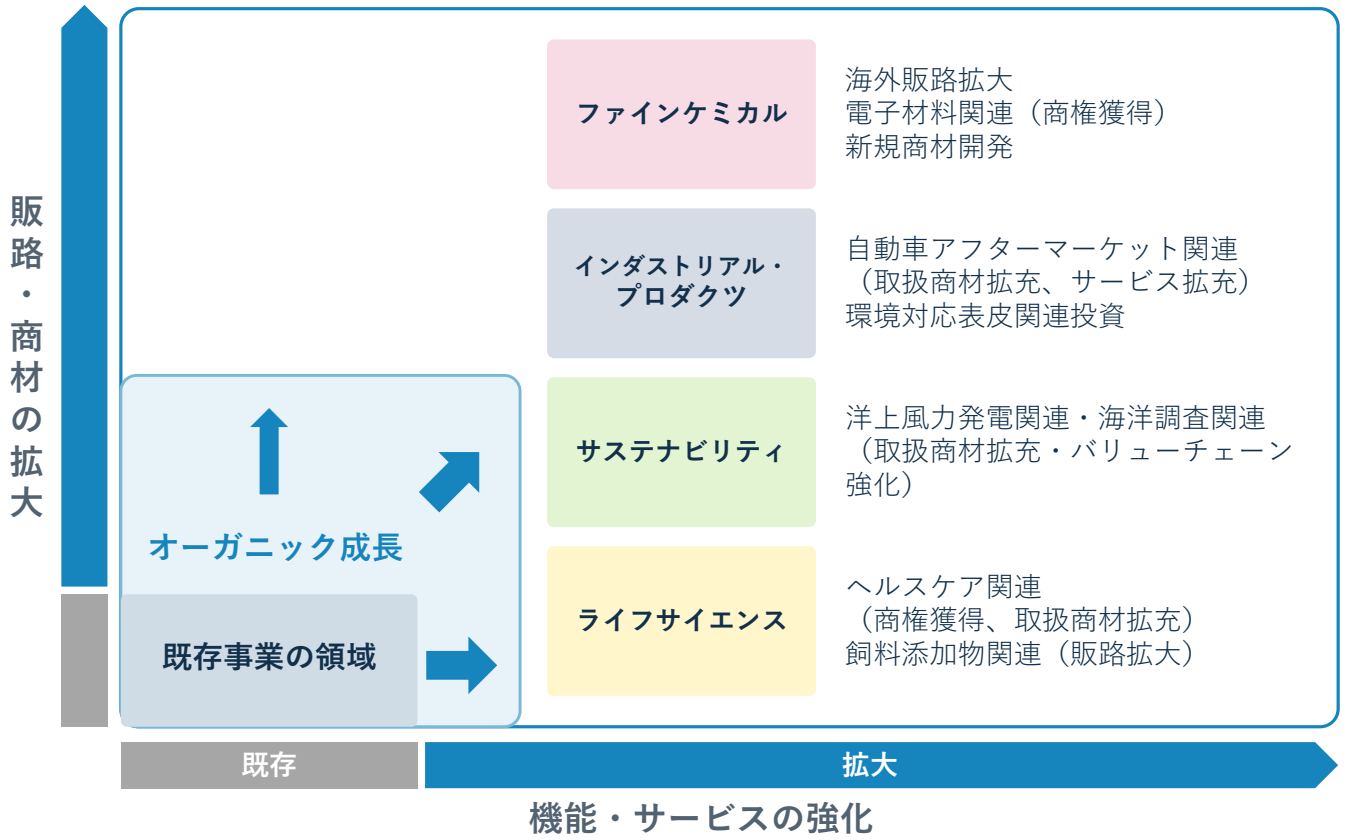
- 成長分野でボルトオン型のM&Aを推進
- 企業価値向上に資する投資機会を追求すべく、今後、重点領域を選別化

基本方針

～良質案件を厳選して投資実行～

1	3つの前提条件	事業を強くする **相乗効果**	当社の **海外展開**加速	将来の **成長性**
2	保有方針	**長期保有**を原則	自らオーナーシップを持って **事業運営を行う**	キャピタルゲイン狙いの **投機はしない**
3	出資比率	**マジョリティ取得**を基本スタンス		
4	財務規律（目安）	自己資本比率 **50%以上**	D/Eレシオ **0.5倍未満**	

企業価値向上に向け、重点領域を選別化

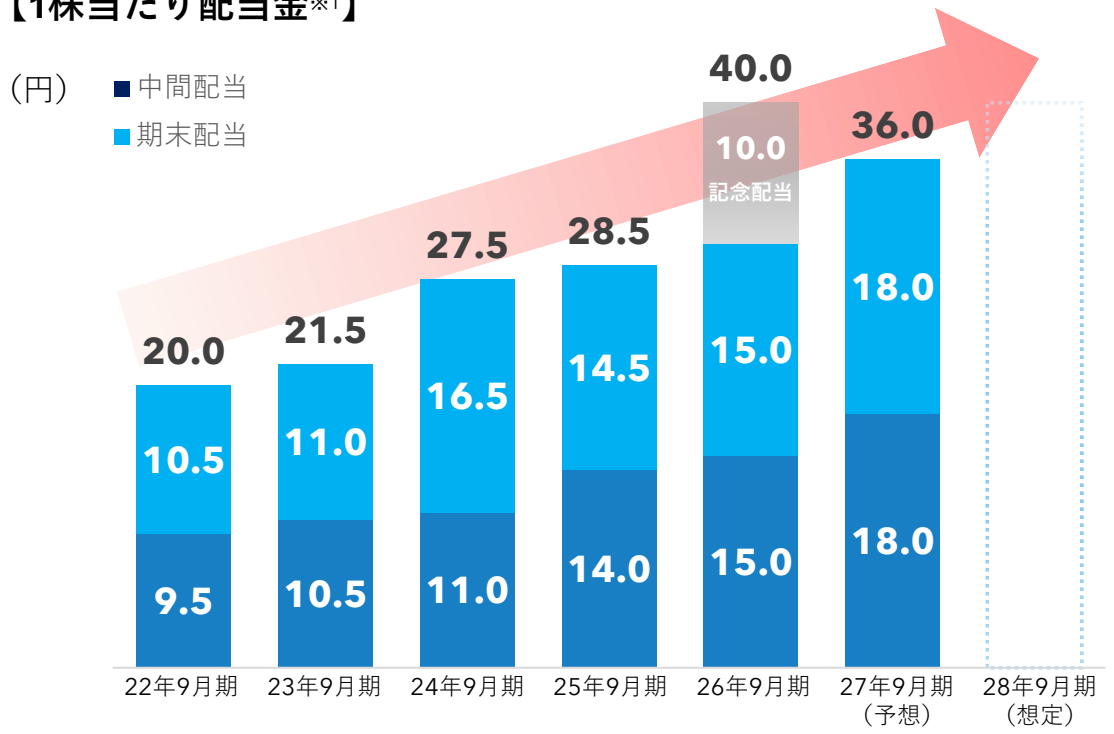


Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

資本政策：株主還元の充実

- 累進的な配当と自己株式取得により株主還元を充実、26年9月期は80周年記念配当を付与
- 普通配当の増配を継続しつつ、自己株式取得を含めた27年9月期の株主還元額は過去最高の見込み
- 今後も株価水準や成長投資に係る資金需要などを踏まえ、自己株式取得を機動的かつ柔軟に実施する方針

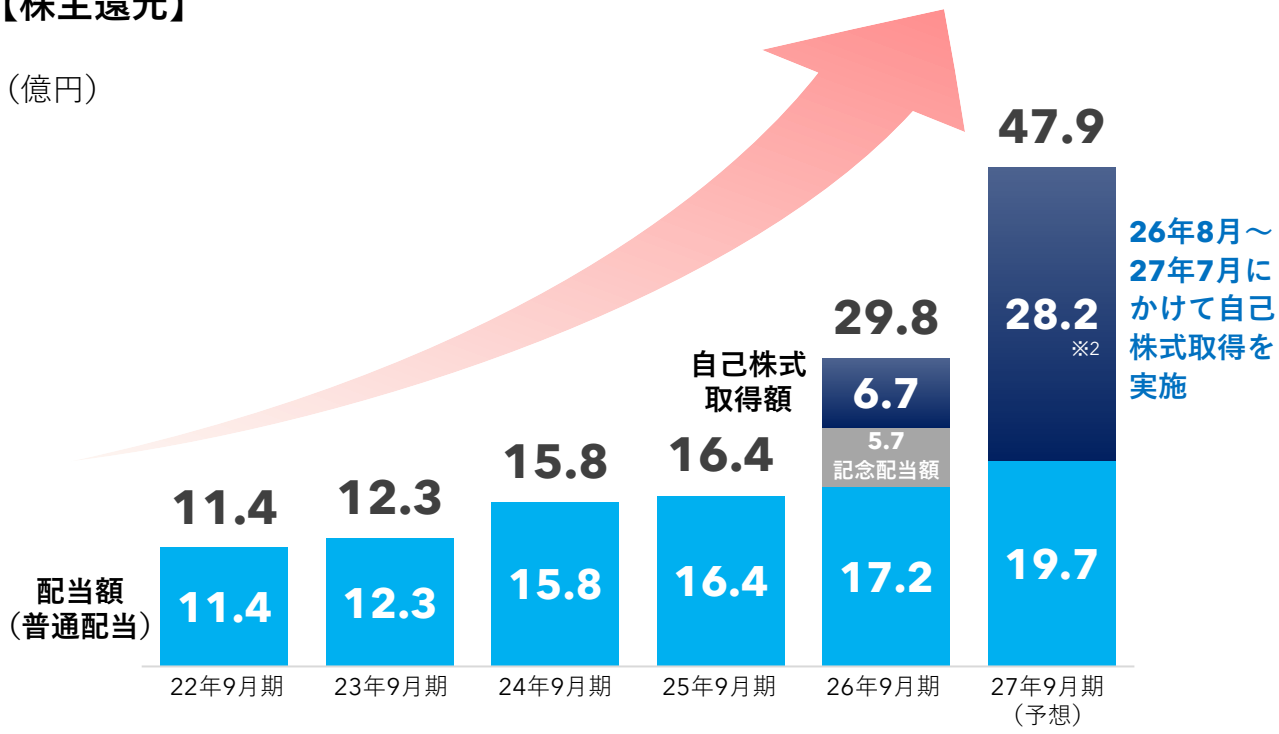
【1株当たり配当金※1】



配当性向	26.7%	25.8%	30.4%	35.6%	40.4%	35.2%

※1 2026年7月1日付で実施した株式分割（普通株式1株につき2株の割合）を考慮した数値を記載

【株主還元】



総還元性向	26.7%	25.8%	30.4%	35.6%	52.3%	85.6%

※2 自己株式取得枠上限35億円から26年9月期取得総額を控除した参考試算額

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

資本政策：株主優待制度の新設

- 当社株式への投資魅力を高め、幅広い投資家の皆様に当社株式への関心を高めていただくことを目的として株主優待制度を導入
- 対象となる株主様の保有株式数に応じて株主優待ポイントを贈呈。「三洋貿易・プレミアム優待倶楽部」において、5,000種類以上の商品からお好みの商品を選択可能



保有株式数	進呈ポイント数
500株～599株	2,000ポイント
600株～699株	3,000ポイント
700株～999株	5,000ポイント
1,000株～1,499株	8,000ポイント
1,500株～1,999株	13,000ポイント
2,000株以上	20000ポイント

優待商品の一例をご紹介

※写真はイメージです。また、優待商品は変更になる場合がございます。

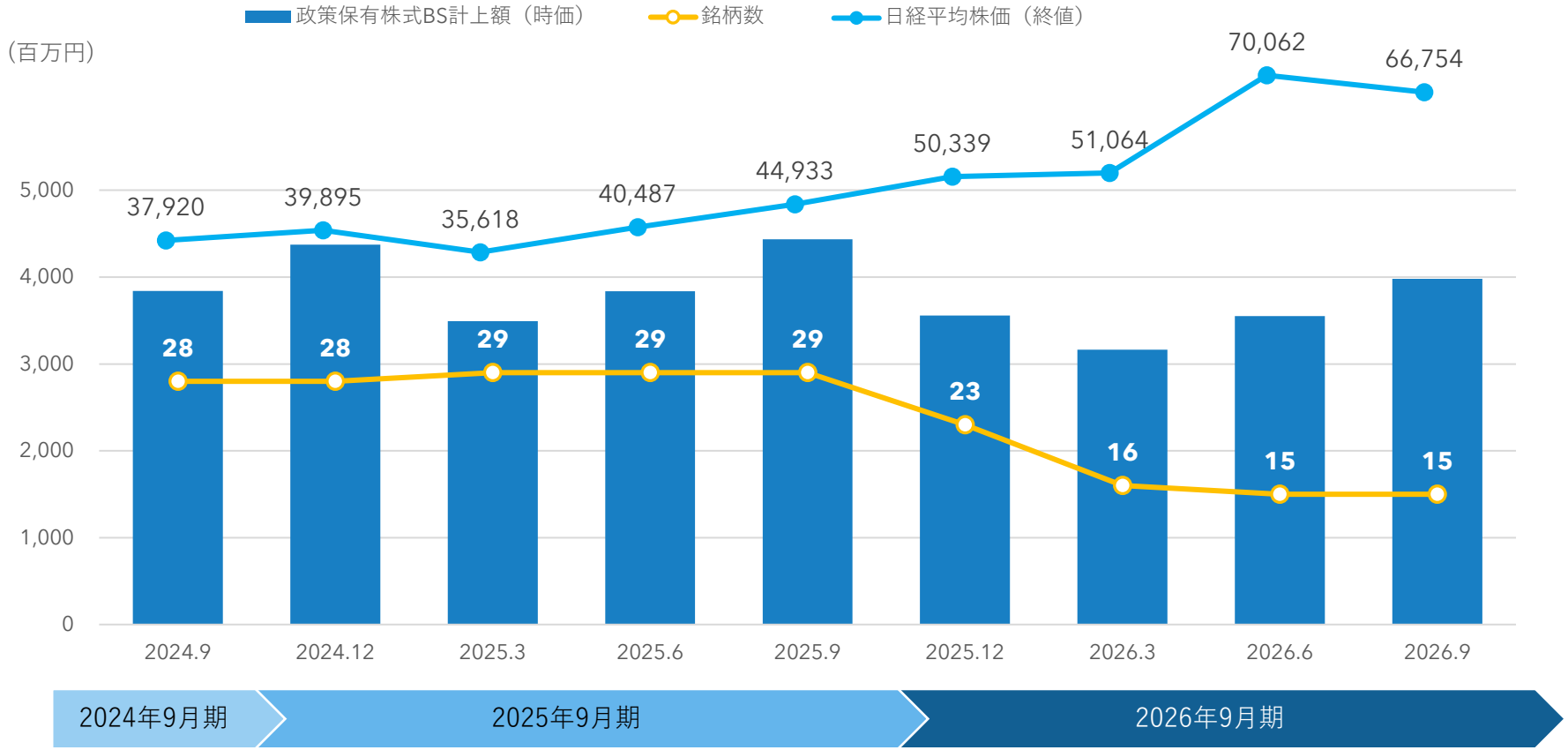


【進呈条件】2026年以降、毎年9月末日の株主名簿に500株以上保有する株主様として記載または記録されること
【繰越条件】翌年9月末日において株主名簿に同一株主番号で連続2回以上記載され、かつ500株以上継続保有されている場合にのみ繰り越せます（最大1回まで）。

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

資本政策：政策保有株式の縮減状況

- 政策保有株式の縮減を本格化、26年9月末時点の純資産に対する割合は7.2%
- 取引先株式の売却を推進し、投資有価証券売却益として12億円計上（2026年9月期）
- 引き続き、中長期的な観点で保有合理性を判断し、縮減方針を継続



Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

Quest for Next

Appendix

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

【セグメント別成長戦略】ファインケミカル

■ 当社の祖業。専門性の高い商社機能を活かし更なる成長を目指す

当社の強み		事業環境
• ゴム・化学品分野での幅広い商材の取扱い • 日本と海外拠点の連携を通じた地域差のないソリューションを提供 • 高付加価値商品を取扱う専門性・技術力 • 在庫の効率化による安定供給力	×	• 国内市場は次世代用途、機能性商材への需要を除き成熟化の一方で、海外市場は拡大継続 • 海外サプライヤーは日本市場への投資を絞り、商社に高い専門性・技術対応力を求める動きが進展 • EV・AIなど新たな市場の創出（電気電子材料） • 環境対応品への切替加速

基本戦略		■ 海外サプライヤーとの関係深化 ■ 海外展開強化（日系メーカー・海外現地企業） ■ 高付加価値／環境対応商材の新規拡売 ■ 得意分野への投資拡大 ■ DX化による小規模商売の効率化
計画達成の鍵となるファクター		■ 海外サプライヤーによる代理店集約　→　商権獲得 ■ 国内合成ゴムメーカーの再編　→　取扱シェアアップ ■ 国内外での自動車用途への販売数拡大
ビジネス	既存	■ (ゴム)ARLANXEO社合成ゴム、ダウ東レ社シリコーンゴム ■ (化学品)インキ・塗料・コーティング・樹脂・接着剤原料
	新規	■ (ゴム)ダウホン社フッ素ゴム、機能性素材、天然由来素材 ■ (化学品)環境対応素材、電材ケミカル

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

【セグメント別成長戦略】インダストリアル・プロダクツ

■ 当社の収益の大きな柱の一つ。新規事業を育成し、事業PFの入替を推進

当社の強み		事業環境
• 営業・開発設計・品質保証およびジャストインタイム納入までの一気通貫サービス提供 • 全ての日系自動車メーカーとの取引関係構築 • 自動車内装部材ビジネスで蓄積した知見 • 財務基盤を活かした安定供給力	×	• EV化、SDV化、自動運転などの技術革新による世界の自動車産業の構造変化 • 既存商売のコモディティ化・競争激化 • 非日系自動車メーカーの伸長

基本戦略		■ 既存ビジネスの堅持 ■ 海外自動車メーカーとの取引強化 ■ バリューチェーン機能の多角化（新車部品市場からアフターマーケット市場へ） ■ 新規商材の開発、日本市場への導入
計画達成の鍵となるファクター		■ 米国の通商・関税政策の動向　→　利益への影響 ■ 海外での日系自動車のシェア維持　→　自動車・部品メーカーへの販売維持 ■ 中国プラスワンの供給体制強化　→　調達先の多様化
ビジネス	既存	■ ランバーサポート、シートヒーター等の自動車内装材
	新規	■ 自動車ベンチマーキング、EVバッテリーテスター、環境対応表皮材

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

【セグメント別成長戦略】サステナビリティ

■ 再生可能エネルギー市場拡大を追い風とした事業成長

当社の強み		事業環境
• プラント設計/施工からアフターサービスまでの一貫したトータルソリューション提供 • 国内飼料用ペレットミルでの圧倒的シェア • 地熱開発の機器納入での高シェア • 洋上風力発電関連機材の幅広いラインナップ • 通信・送電分野のケーブル技術・顧客基盤	×	• 飼料製造現場での自動化・効率化の加速 • 電源構成の脱炭素化と再エネシフトの進展 • 大手電力による再エネ事業強化の潮流 • 着床型から浮体型への洋上風力シフト • AI普及による通信の高速：大容量化 • AI/DC拡大に伴う省エネ化

基本戦略		■ 高いシェアを背景とした設備更新需要取り込み ■ 機材のアフターサービスによるストック収益強化（ペレットミル・木質バイオマス） ■ ペレットミルの新たな用途開発（ex.有機肥料事業） ■ 洋上風力発電案件での大型プロジェクト獲得 / 商材多様化 ■ 海洋資源開発事業・洋上風力発電事業でのバリューチェーン拡充（M&Aも選択肢） ■ 情報通信インフラ分野での事業領域拡大・グローバル展開
計画達成の鍵となるファクター		■ 飼料工場統合・再編に伴う大型投資の加速　→　設備更新需要獲得 ■ 再生可能エネルギープロジェクトでの事業収益の安定　→　市場拡大 ■ ユニコムのグローバル拠点・パートナーとの連携強化 → 成長領域での事業創出
ビジネス	既存	■ ペレットミル ■ 地熱開発関連機材
	新規	■ 木質バイオマス関連機材 ■ 海洋資源開発・調査関連 / 洋上風力発電関連機材 ■ 高速・大容量通信ケーブル／高機能冷却ケーブル

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

【セグメント別成長戦略】ライフサイエンス

■ 成長市場向けのQOL・環境対応品の発掘と育成

当社の強み		事業環境
• グローバルな事業基盤で各拠点と連携したビジネスを展開 • 先端技術を支える素材と機器の取扱い • 高付加価値商品を取扱う専門性・技術力 • 財務基盤を活かした安定供給力 • M&A, 出資を活用した事業領域の拡大	×	• 「テクノロジー」「健康」「環境」の共創による持続可能な社会 • 研究開発支援の強化（予算確保、補助金等） • 計測ニーズ変化（ex.日本自動車規格改定・EV化） • EV化による新たな市場の創出（バッテリー等）

基本戦略		■ 国内外サプライヤーとの関係深化 ■ 日本・海外拠点連携によるグローバル展開の推進 ■ デジタルマーケティング・アプリケーション提案営業による拡販・効率化 ■ 産学連携の推進による事業開発 ■ 最先端事業への投資、取扱商材・販路拡充（M&A、一部出資）
計画達成の鍵となるファクター		■ 国内外サプライヤーの生産・供給再編　→　市場変化 ■ EV化の進展　→　新たな市場創出 ■ 国内バイオ産業の発展　→　市場拡大 ■ 米国の通商・関税政策の動向　→　利益への影響
ビジネス	既存	■ 電材、フィルム、SAP、界面活性剤、放熱分野素材 ■ 科学機器　　バイオ関連機器/試薬
	新規	■ LiB関連部材 ■ 新規機能性飼料 ■ フードロス対策商材

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	2025年9月期4Q (2025.9末)	2026年9月期4Q (2026.9末)
現金・預金	11,896	10,138
受取手形・売掛金等	26,409	28,447
棚卸資産	26,387	28,982
その他流動資産	5,221	10,225
有形固定資産	3,464	3,839
その他固定資産	8,116	8,150
資産合計	81,496	90,310

負債の部	2025年9月期4Q (2025.9末)	2026年9月期4Q (2026.9末)
支払手形・買掛金	12,544	14,274
短期借入金	2,960	3,268
その他流動負債	12,600	15,472
長期借入金	100	150
その他固定負債	1,968	1,763
純資産	51,321	55,382
負債純資産合計	81,496	90,310

【ポイント】
- 政策保有株売却による利益計上の一方、M&A・自己株式取得による支出

	2025年9月期4Q (2025.9末)	2026年9月期4Q (2026.9末)
有利子負債比率	6.0%	6.2%
自己資本比率	62.9%	61.2%

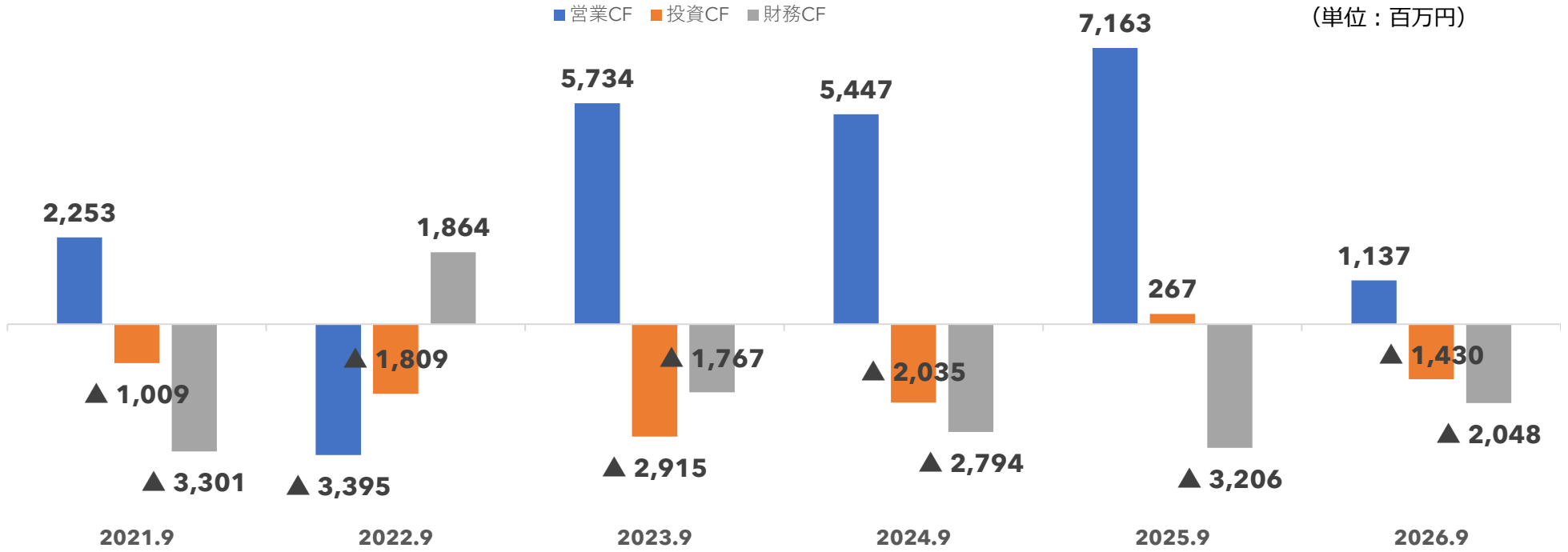
算出方法）　有利子負債比率　：有利子負債（※1：リース債務除く）÷自己資本（※2）
　　自己資本比率　　：自己資本÷期末総資産

（※1）有利子負債＝短期借入金+長期借入金
（※2）自己資本＝純資産ー新株予約権ー被支配株主持分

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

連結キャッシュフロー

営業CF：連結子会社増加による棚卸資産の増加、サステナビリティ関連事業における前渡金の増加の一方、
　　適切な在庫管理等により黒字継続
投資CF：投資有価証券の売却による収入や子会社株式の取得による支出
財務CF：配当金の支払や自己株式の取得による支出



	2021.9	2022.9	2023.9	2024.9	2025.9	2026.9
営業CF+投資CF+財務CF	▲2,057	▲3,340	1,052	618	4,224	▲2,341
現金及び現金同等物の残高	8,663	5,718	6,900	7,367	11,726	9,972

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

お知らせ

公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

中小型株等上場企業向け
業種別ディスクロージャー好事例に選定

公式SNS
やっています

＜三洋貿易公式 Instagram＞

QRコードを読み取って
フォローをお願いします

＜三洋貿易公式 X＞

QRコードを読み取って
フォローをお願いします

スポンサードレポート
当社IRサイトで公開中
https://www.sanyo-trading.co.jp/ir/

ASTRIS CORPORATE ADVISORY JAPAN
アストリス・アドバイザリー・ジャパン
による当社の調査レポートはこちら

Shared Research

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.

IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社　広報・IR室

電話：03-3518-1052　e-mail：ir@sanyo-trading.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright © 2026 SANYO TRADING CO., LTD. All Rights Reserved.